学校番号	412

令和８年度　グローバル科

教科	グローバル	科目	グローバル 歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	明解　歴史総合（帝国書院）						
副教材等	明解　歴史総合図説　シンフォニア（帝国書院）、新歴史総合研究ノート（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「過去」を調べ、「現代」と比べ、「将来」を考える学問と捉える。
・因果関係によって歴史的事象はつながっており、歴史を流れの中で捉える。
・考古資料・文献資料・絵画資料等様々な史料から過去を読み解く。
・世界史と日本史を一体的に学ぶため、授業後の復習に力を入れてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・世界とその中における日本を広く相互的な視点からとらえて、近現代の歴史をとらえる。
【思考力、判断力、表現力等】
・歴史の大きな転換点に着目し、問いを重視し、資料を活用しながら歴史の学び方を習得する。
【学びに向かう力、人間性等】
・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近世中期から現代に至る歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	各時代の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近世中期から現代に至る歴史の展開に対する関心を高め、意欲的に追究し、歴史的な思考力を育み、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養おうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	2部 近代化と私たち	1章「近代化」への問い 2章　江戸時代の日本と結びつく世界 1アジアのなかの江戸社会 2 清の繁栄と結びつくアジア 3アジア・アメリカに向かうヨーロッパ 3章 欧米で生まれる国民国家 1イギリスの革命とアメリカの独立 2 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け 3 革命の拡大と国民意識の芽生え 4 1848年～近代ヨーロッパの転換点 5イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化	a: 江戸幕藩体制の安定・改革・衰退、江戸期経済の発展、近世諸文化を理解し、その知識を身に付けている。 b: 明清、ルネサンス以降の近代ヨーロッパ、アメリカ独立革命、フランス革命について、設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 c: 近代世界の展開についての問いに対して意欲的にグループ活動等に取り組み、諸課題を解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	ノート提出 提出課題 授業態度 発問評価
		5章　日本における近代国家の形成 1 新体制の模索と江戸幕府の滅亡 2 新政府の誕生 3 近代国家を目指す日本 6章　帝国主義の影響と日本を含めた東アジアの変化 1 帝国主義の広がりと人々の移動 2 世界市場と日本の産業革命 3 変動する東アジアと日清戦争 4列強の中国進出と日露戦争 5日露戦争が与えた影響	a: 幕末から明治への近代化を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に理解している。 b:欧米やアジア諸地域の歴史について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 欧米やアジア諸地域の資料や地図を適切に活用して、諸課題について解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	ノート提出 提出課題 授業態度 発問評価

2	3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	1章「国際秩序の変化や大衆化」への問い 2 章第一次世界大戦とその影響 1バルカン半島の緊張と世界大戦への道 2 第一次世界大戦の展開とロシア革命 3 大戦終結後のヴェルサイユ体制 4 東アジアの民族自決の行方 5 中東・インドの民族自決の行方 3 章　大衆社会の形成と社会運動 1大衆社会の出現とアメリカの繁栄 2ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 3日本における大衆社会の形成 4政党政治と国際協調外交の発展 4 章　揺らぐ国際秩序と日本の行方 1世界恐慌が与えた影響 2ファシズムの台頭と拡大 3政党政治の断絶と満州事変 4日中戦争の始まり 5 章　第二次世界大戦とその影響 1第二次世界大戦の始まりと拡大 2 太平洋戦争の開始とその展開 3 第二次世界大戦の終結とその傷跡	a:2度の世界大戦前後における各国の動向や政策について関連付けて理解している。 b:諸資料をもとに、国際秩序の変化や大衆化の進展などについて考察し、表現している。 c: 習得した知識をもとに、国際間家の緊密化や、植民地の独立、大衆の登場などの危機の時代について考察し、現代からの視点も交えて諸課題を考察し、解決しようとしている。	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	ノート提出 提出課題 授業態度 発問評価

		5 章 4 戦後処理と日本の改革 5 新たな国際秩序と冷戦の始まり 6日本撤退後の東アジア 7冷戦の展開と日本の独立	a:冷戦開始から日本独立までの通史を世界の中の日本という視点から理解している。 b: 諸資料をもとに、国際秩序の再構築や世界経済の動向について考察し、表現している。 c: 習得した知識をもとに、国際秩序の変化や大衆化の進展などを現代につながる諸課題と比較して主体的に考察し、解決しようとしている。 a: b: c:	小テスト 定期考査	提出課題 授業態度 発問評価 定期考査	ノート提出 提出課題 授業態度 発問評価
3	4 部 グローバル化と私たち	1 章「グローバル化」への問い 2 章 冷戦で揺れる世界と日本 1スターリン批判と日本の国際社会復帰 2米ソの緊張緩和と各国の動向 3第三勢力の形成と脱植民地化 4パレスチナ問題と中東戦争 3 章 多極化する社会 1ベトナム戦争と揺らぐアメリカ 2冷戦下の日本とアジアの歩み 3「経済大国」日本の影響 4経済発展に取り組む東・東南アジア 5中東情勢とソ連の弱体化 4 章グローバル化のなかの世界と日本 1冷戦の終結と変わる世界構造 2冷戦の終結が与えた世界の影響 3超大国アメリカと中東情勢 4国際環境の変化と日本 5グローバル化による国際社会の変容				

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度